

教業学区では平成 30 年度から市の支援を受けて、「密集市街地や細街路の安全性向上を目的とした防災まちづくり」の取組を開始し、3 年目を迎えます。今年度は支援の最終年度にあたり、**教業学区及び各町内会ごとの防災まちづくり計画策定の取組を精力的に進めますので、ご協力よろしくお願いします。**

## ■教業学区防災まちづくりが目指す基本目標および基本方針を考えます

5 月末に新型コロナウイルスの緊急事態解除を受け、中断していました防災まちづくりの取組を再開するために、自治連役員の皆さん等と、今後の取組方針の協議を行いました。協議の中で「教業学区が目指す防災まちづくりの基本方針等について」の教業学区の特性について以下のようなご意見がありました。

- 二条城、神泉苑、区役所があり、中京区の中でも歴史的に行政の中心地
- 昔からの助け合いが残る
- 町内会のまとまりがある
- お年寄りが多い

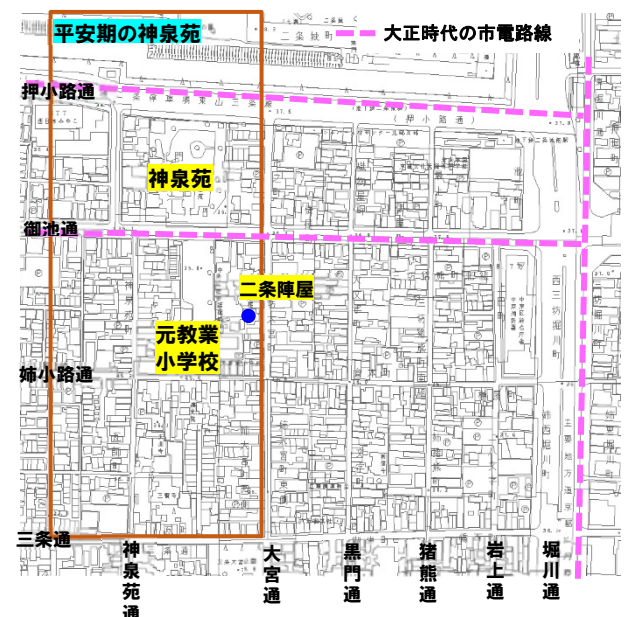
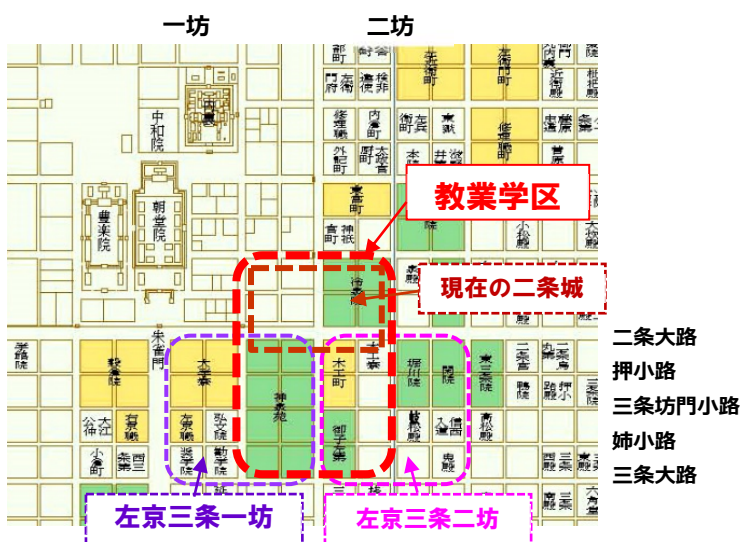
このご意見を踏まえ、教業学区の防災まちづくりを考える上で、以下のようなキーワードをもとに、改めて教業学区の防災まちづくりの課題等の分析を進めることを提案します。

- 【キーワード】
- 昔ながら - 平安京創設以来、持続するまち
  - 昔のまま - 昔のままの道路骨格のまちで、木造建物が多い
  - 助け合い - 助け合いのまち 自助・共助のまちづくり

## ■教業学区の歴史 - 平安建都から現代まで『昔のまま』の町の骨格を受け継いでいます

●平安建都時に「**教業坊**」が設置され、教業学区は左京三条（左京教業）一坊、二坊に跨り、「**教業**」の名が誕生していた歴史的エリアです。

●天正 4（1586 年）に秀吉が聚楽第を築いた際、町とともに「**岩上**」「**猪熊**」「**黒門**」「**神泉苑**」「**姉小路**」「**御池**」等の街路を整備し、その時より現在の地形が形成されました。



### ●教業小学校

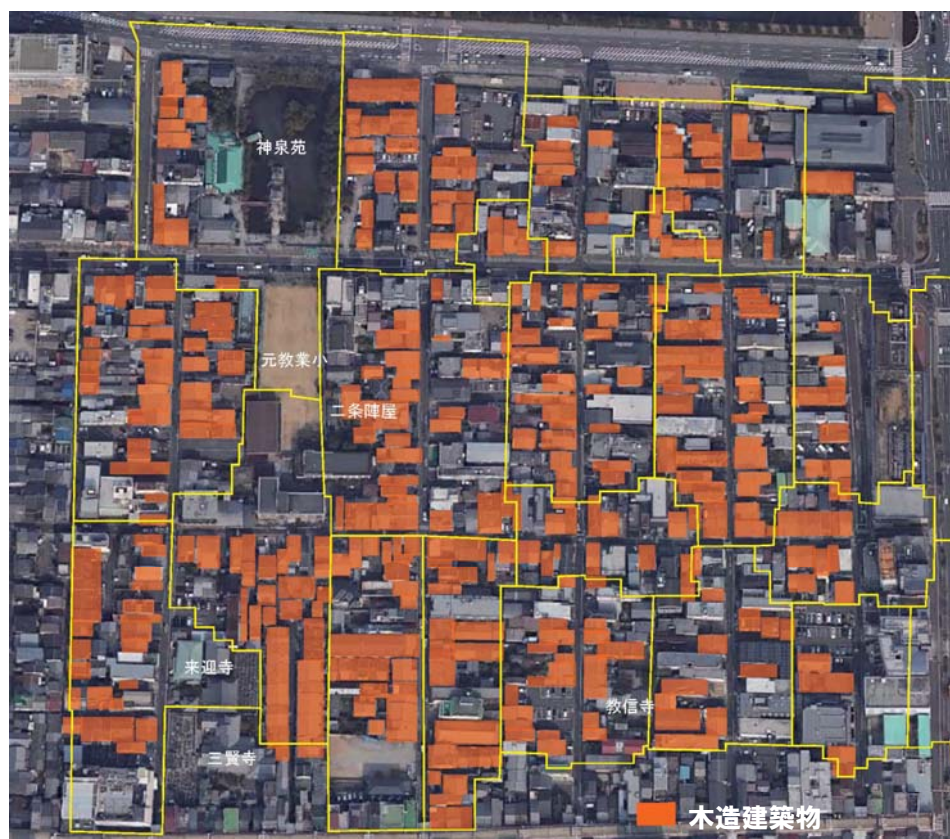
教業小学校は上京第二十三番組小学校として明治 2 年に開校。校名は**平安京の坊名「教業坊」**に由来する。



●大正時代には堀川通、御池通と押小路通に**市電**が通っており、昭和 40 年頃に廃線。



■町並み – 木造建築物が多く、路地も多く、教業らしい特徴的な景観が随所で見られます



姉大宮町西側



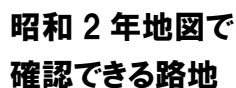
昭和小路（姉西町）

木造建築物（目視による調査ですのでご注意ください）

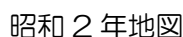
■昔のままの町の骨格① – 各町内会の骨格道路で幅員 4 m 未満の箇所が多く見られます



現在確認できる路地を昭和 2 年の地図と比較すると、その多くが昔のままであることがわかります。また、各町内会の骨格となる通りの幅員も昭和初期そのままです。



平成31年1月にすべての町内会で作成、配布しました**防災マップ**を今一度ご確認ください。



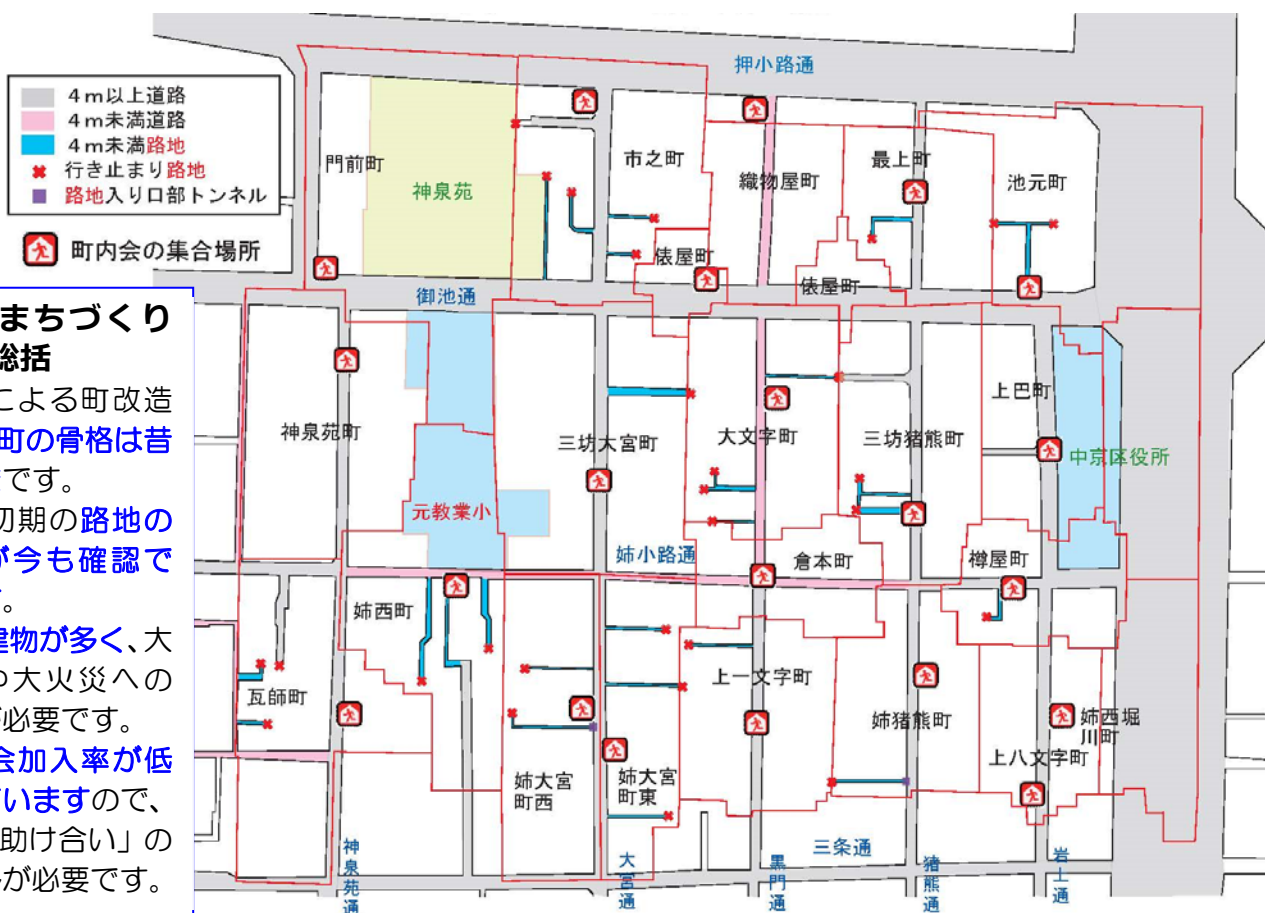
## ■「助け合い」－ 日常の火の用心、災害時の助け合いに向け、防災訓練を積み重ねています

### ●町内会の助け合いを今一度確認しましょう！！

- 各町内会でまちかどに消火器を配置し、定期的に更新しています。
- 町内会で消火用バケツをまちかどに配置し、更新しています。
- 防災訓練で町内会の助け合いの確認、訓練を実施しています。等々



## ■教業学区の防災まちづくり課題の総括図－ 下記の総括図を今一度ご確認ください！



### ■防災まちづくり課題の総括

- 秀吉による町改造以降、**町の骨格は昔のまま**です。
- 昭和初期の**路地の多くが今も確認**できます。
- 木造建物が多く**、大地震や大火災への備えが必要です。
- 町内会加入率が低下**していますので、町の「助け合い」の見直しが必要です。

## ■今後、防災まちづくり計画策定に向け、様々な活動に取り組めますので、ご協力ください！

教業学区防災まちづくり計画策定に向け、学区の歴史的な経緯を踏まえ、町内会や学区の「互いの助け合い」の取組の確認、さらなる発展を目指して、活動を展開します。

「顔の見える安心、安全な教業のまち」をめざし、令和2年度中に「**教業学区および各町内会防災まちづくり計画**」を策定、以降、その実現に向け、町内会、学区での具体的な活動を展開します。